

「慰安婦」被害者を支援

フィリピン大統領が声明

【ハノイ＝面川誠】

フィリピンのマルコス大統領は12日に声明を
発表し、太平洋戦争中
に旧日本軍の「慰安
婦」にされたフィリピ

ン人被害者を支援する
よう関係各省庁に指示
したと明らかにしまし
た。マルコス氏は被害
者への「深い連帯と最
大限の敬意」を表明。

「彼女らがより良い生
活を送れるよう支援す
る方法を見いだす」と
述べました。
今回の決定は、国連
の女性差別撤廃委員会

が3月8日、フィリピ
ン人被害者団体「マラ
ヤ・ロラス」の訴えを
受け、フィリピン政府
に対して被害者の「尊
厳と名誉の回復」のた
めに「完全な補償」を
勧告したことに応じた
ものです。
マルコス氏の指示を
受け、フィリピン政府

は被害者に初めて支援
金を支給。マラヤ・ロ
ラスのマリア・キラン
タン・ラル会長は現地
紙に「これは正義への
第一歩だ」と語りまし
た。マラヤ・ロラスの
会員は次々と亡くなっ
ており、生存者は21人
です。
1997年に設立さ

れたマラヤ・ロラス
は、日本への補償請求
を支持するようフィリ
ピン政府に求めて20
10年と14年にフィリ
ピン最高裁に請願を提
出しましたが、いずれ
も却下。その後、フィ
リピン政府に対しても
救済措置を求めてきま
した。